

問題



この漫画のタイトルは1〜5のうちのどれだと思いますか？

○ 印を付けて下さい

1. 芸が無い
2. 途方も無い
3. 締まりが無い
4. 甲斐性が無い
5. 立つ瀬が無い

1. 灯火親しむべし
2. 後生畏るべし
3. 白く言いがたし
4. 奇貨居くべし
5. 以て瞑すべし



問題

とがぎ笑の仏



奇貨居くべし



江戸時代の中期、九州博多湾の近くに住む漁民が、浜辺の砂の下に光っている四角い印形を見つける。それは陰刻で何やら難しい漢

字が彫られていた。この漁民は、拾った金の印形を鑄潰して金儲けを企むことなくしまっ

これが有名な金印で、表に彫られたのは「漢倭奴国王（かんのなのわのこくおう）」という文字だった。後に歴史学会を二分する「魏志倭人伝」に出てくるヒミコ（邪馬台国）の元になった。この漁民が奇貨を居いたおかげで。

『奇貨』とは、珍しい品物、めったに手に入らないもの。『居く』は、しまっ、蓄える。つまり、珍しいものは（あとで値上がりなどが予想されるから）機会を待つべきである。

早い話が、好機をとらえろ、急いでは何を仕損じる、慌てる乞食はもらいが少ない。身近な例では、

「今が売り時です」を制して、
 「まだまだ上がる。わしの目に狂いはない」の言葉通り、慌てて売らなかつた投資した株価がその後も天井知らずの値上がりをつづけたなんてのも奇貨居くべし。

が、気をつけないといけないのは、何でもかんでも機会をうかがって、しまっておくと腐ってしまうことがある。

「わしの娘は、自分の口から言うのも何だが、稀にみる美貌で教養のある才媛。滅多なところにはやれぬ」と良縁をうかがっていて気がついていたら、娘は六〇の嫁（い）かす後家になっていたなんてこともあるから。

とがぎ笑の仏

おかしな話



練習まりが無い

インマジンがつかうよ



しまらない話、その一。
 「おい、玄関のドア開けっぱなしだぞ、不用心じゃないか」
 「ちようつがいが壊れてしまらないのよ」

その二。
 「お似合いでございますわ、奥さま」
 「そうお、じゃあ試着してみようかしら」
 「どうぞ」

「ウツ」(試着室からの声)
 「どうなさいまして?」
 「チャックがしまらない」
 その三。
 「どうした?」
 「結婚申し込んだら、彼女がぼくの顔に手を当てて『医者に診てもらったら』っていったんです。どういう意味ですか、先輩。ぼくが風邪ひいてると思ったんですかねえ?」
 しまる話、その一。
 「どうした?」
 「今月また赤字なのよ。来月からあなたの晩酌、ビール小瓶一本にするわよ、しめるとこしめないよ」
 「何でそんなとこしめるんだよ」
 その二。
 「うちの会社の重役は、ほとんどT大卒でしめてんだよ」
 「だったらあなたもT大卒だから重役ね」
 「T大は東大だよ」
 「あなたは?」
 「東長万部大学だよ」
 その三。
 「女房が私に向かって、給料が安い上に出世がおそいって詰ったから」
 「それで奥さんの首をしめたのか」
 「はい」

おかしな話